別紙2

事業所名: 愛の家グループホーム郡山日和田

作成日: 2020/05/09

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練の数が少なく実際に起こったときにスムーズに避難できるかが疑問点である。ただでさえパニックになると思う中年2回では到底足りないと考える。	防災委員会を立ち上げ委員を中心に2ケ月に1度の避難訓練を行うようにし、最終的には毎月出来るようにする。	各ユニットから委員を決め避難訓練の日、やり方などをまとめて定期的に行うことで、普段参加しない入居者様あ0になるように訓練を繰り返す	6ケ月
2	45	入浴を拒まれ極端に回数が少ない方が何名かいらっしゃる	いろいろ工夫はしているが、なぜ拒まれるのかをもっと把握し、入浴を好んで頂けるようにする。	何故、拒まれるのか、本当に対策はすべてやりつくしたのか、どうせ断られるからとあきらめていないかをユニットでもう一度話し合いを行う。	6ケ月
3	48	役割や楽しみ事を出来ない方への支援。出来る方へ提供を行いやっていただくのは簡単だが、マンネリ化していないか。また出来ない方はじっと座っているだけでケアは行っているのかが見えないユニットもある	訴えが出来ない方、行動的でない方などのケアが足りないと思われるので入居してくださっている方全員に楽しみや安心を提供する。	ケアプランの変更時やユニット会議の時など、ケアの提供を変えるタイミングの時には必ず本人の意向を聞き出来ない事のプランだけではなくどうしたら他の住んでいただけるかのプランも加える。	6ケ月
4					ケ月
5					ケ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。